



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1148

16.03.2025 (136)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク 著

パート14

第六章

鉄のカーテンの崩壊

不可能なことはすぐに実行する。
奇跡にはもう少し時間がかかる。

私に贈られた疫病神のスローガン

陶醉と幻滅

共産主義の崩壊に対する東欧の高揚感は、すぐに後退した。
人々は自由の代わりに腐敗を手に入れた。
安定した経済における貧困層ではなく、不安定な経済における貧困層なのだ。
ボロいけれども少なくとも手頃な値段のアパートではなく、ボロいけれども手の届かないアパートができたのだ。

共産主義のプロパガンダ（どうせ誰も信じないが）の代わりに、子どもたちはポルノやドラッグにさらされていた。

西欧の「民主主義」と「資本主義」があまりにも惨めに失敗したため、新共産党が多く地域で復活した！

反体制派は、政治警察による投獄だけでなく、一般犯罪者による殴打、時には殺人にも直面するようになった！

私はある事件を特に思い出す。反体制派のライナー・ゾンタークが、大勢の目撃者の前で無残に殺されたのだ。彼を殺した犯人は、この計画的な契約殺人のために、多くの反体制派が反政府的な文献を書いたために受けた刑よりも短い実刑判決を受けた！これは共産主義が崩壊した後の出来事である！

そして、これらの政府は私たちをあえて“テロリスト”と呼ぶ！

専制政治の新しい顔

鉄のカーテンの崩壊は、まさに新時代の到来だった。

古い問題は新しい問題に取って代わられた。

東部では、共産党の幹部は党の本を別の本に入れ替えたただだった。以前と同じメンタリティの幹部が権力の座に居座り続けた。しかし、西側はもはや彼を戦うべき敵とは見ていなかった。それどころか、西側諸国政府は彼を口説き落とすとした。

西側諸国では、政府はより“ラブラブ”になった。以前は「安全な国」だったのが「敵対する国」になった。欧州連合（EU）の枠組みの中でのヨーロッパの統合は、事態を悪化させるだけだった。それは自由を増やすのではなく、減らすことにつながった。

外国政府はやがて、私たちが犯罪的な何かに関与した疑いで捜査中だと主張すれば、米国当局からより多くの協力を得られると考えた。「テロリズム」は9.11以前から人気のある選択肢だった。

この不吉な変化は、3つの段階に反映されている。

第1ステージ

ある外国政府がアメリカ当局に、反体制運動への援助を止めるよう協力を要請する。アメリカ当局は憲法修正第1条を理由に丁重に断る。

第2ステージ

しかし、もしそれに加えて何かあるのなら、協力できるかもしれない。

ステージ3

米国と外国の政府高官が協力し、米国憲法と米国の主権を侵害する！

ドイツにおける急増と抑圧

当然のことながら、この運動は東部に非常に肥沃な土壌を見出した。1945年以来、かつてないほど繁栄した。

民主政権はこれに対し、それまで合法だった10団体を非合法化した。その結果、地下活動へと逆戻りした。運動の合法部門と非合法部門を、同じ軍隊の2つの異なる支部と考えてほしい。明らかに、両者は密接に連携している。さらに、どちらかが特に苦境に立たされた場合、もう一方はその圧力を和らげるために努力を倍加する。

当然、1970年代とは状況が激変していた。私の役割も変わった。

アメリカ拠点の拡大

1990年代前半、私たちのアメリカ拠点（別名*Auslandszentrale*）は爆発的に成長した。数台のワークステーションが一日中賑やかだった。建物はすでに、より多くの機器に対応できるように配線し直されていた。それにもかかわらず、すぐに処理しきれないほどの機器が接続されるようになった。幸いなことに、すべてを同時に使う必要はなかったので、これは問題にはならなかった。

他のスタッフが各自のワークステーションで作業している間、私自身が

6台ものコンピューターを操作することもよくあった。複数の生産ラインを同時に動かすために、私は行ったり来たりしていた。

それから半世紀の間に、私たちは大きな進歩を遂げた。

つの公用語

ドイツ語は何十年もの間、社内文書の公用語だった。しかし、事業が国内外に拡大するにつれ、ドイツ語を話せない従業員が増えていった。そこで私たちは英語を第二公用語とした。以後、社内文書はドイツ語と英語の2ヶ国語になった。

デンマークの盟友DNSBを訪問した際、監督のヨニはオフィスにある2つの壁掛け時計を指差した。ひとつは現地時間。もうひとつは “AOタイム”、つまりアメリカ中部時間だった。

私たちの出版帝国

タブロイド紙、ニュースレター、書籍などを出版した。それぞれ数カ国語で。

非営利団体の出版物は、世間に見せる顔だった。出版物が印象的であればあるほど、資金集めは成功する。そのため、私たちはタブロイド紙にたどり着いた。

タブロイド判といえば日刊紙を連想する人が多いだろう。印象的だが高価だ！ - しかし、それは間違いだった！

さらに、多くの部数を海外に郵送するのであれば、大判で、なおかつ軽量の（！）タブロイド判の新聞紙が理想的だった。

私たちは最終的に、同盟国に対し、購読者に出版物を郵送するオプションを提供した。これにより、時間と労力を大幅に節約することができた。また、すべての要素を考慮すると、比較的安価であった。

私たちは20年間タブロイド紙を発行していた。

1990年代初頭に海外にいたとき、スウェーデンである連合組織のラース理事と会った。彼は明らかに、私たちが長年作ってきた出版物に非常に感銘を受けていた。当然、私は光栄に思った。そして、私たちの活動を拡大

したいと思った！そこで私は、私たちの方法論を説明した。

驚いて、彼は尋ねた：えっ、アタリを使っているんですか？ボランティアの一人が持っていると思うんだけど！私たちのタブロイド紙を作るのを手伝ってもらえませんか？彼は口元でよだれを垂らしていた。私は間違いなくチェックする価値があると答えた。彼はすぐに彼に電話をかけ、私たちはすぐにそこに駆けつけた。

スウェーデン語は3番目のタブロイド紙になった。やがてハンガリー語が4番目のタブロイド紙になった、

長い話を短くする：

年以内に、私たちの小さな“出版帝国”は2つから10のタブロイド紙に拡大した！

プロでさえ、我々の資源を大幅に過大評価していた。

技術的な問題を解決しなければならなかったし、経済的な制約も克服しなければならなかった。（ドラゴンを倒さなければならなかった。）

このことを覚えておいてほしい：

私たちは、さまざまな国の、さまざまな言語を話す、さまざまな程度のコンピューター・スキルを持つ（まったく存在しないとは言わないまでも、たいていは非常に限られている）ボランティアたちと働いていた！

とはいえ、私の最大の功績は地下活動だった。限られた資源しかなく、専門的な訓練も受けていない志願者たちが、政権による鎮圧の試みにことごとく逆らったのだ。失敗とは、利益を失うことだけではない。それは自由を失うことを意味した。私が知る反体制派の指導者たちのほとんどは、政治犯として5年から10年の獄中生活を送った。

この達成の後、同僚が小さな木製のペストをプレゼントしてくれた。机に座る男の絵の下に、こう書かれていた：

不可能なことはすぐに実行する。

奇跡にはもう少し時間がかかる。

この成功の主な要因は何だったのか？

第一に、忍耐力、意志の強さ、決断力。（言い換えれば、私たちは頭が固かった！）。

第二に、人的にも技術的にも限られた資源を最適に活用することであ

る。

第三に、方法論の単純化と標準化である。

我々は印象的な突破口を開いた。私たちは橋頭堡を広げようとしていた。しかし残念なことに、技術の進歩は他の要因と相まって、私たちのタブロイド紙出版事業を縮小させることになった。

この作戦は、必要になったときにすぐに復活させることができる！

ヨーロッパに戻る

また、1990年代には何度かヨーロッパに旅行した。以下はそのうちの2回についての説明である。

東部ブロックで映画スターになる

共産主義が東側ブロックで崩壊し始めた時期である。共産党はまだ “東ドイツ” を統治していたが、その支配力は明らかに低下していた。

ここはまさに中央ドイツだ。1400万人のドイツ人が東ドイツから強制的に追放された。その過程で300万人が死亡した。現在、東ドイツの大部分はポーランドに占領されている。一時的にだ。

西ヨーロッパの “安全な” 国で、3人の有力な反体制派が戦略会議を開いた。私はそのうちの一人だった。他の2人はティース・クリストファーセンとミヒャエル・キューネンだった。

私の提案は彼らを驚かせた：

テレビのドキュメンタリー・クルーとのインタビューはすでに撮影済みだ。東側のブロックの中でインタビューを続けるとしたら？そのリスクはどれくらいある？

私はこのドキュメンタリーに大きく登場した。このドキュメンタリーは後に数カ国で放映された。私たちのサポーターや活動家たちは大きな感銘を受けた。

そうだね。今、向こうの状況は非常に混沌としている。私たちならやり遂げられると思う

当然、ドキュメンタリーのクルーもこのアイデアを気に入った！

彼らは東ベルリン空港のような東側ブロックの明らかな場所で、他の主要な反体制派と並んで歩く私を撮影した。もちろん、彼らがどのように編集するかは知らなかった。後で完成したドキュメンタリー映画を見たとき、BGMが大笑いさせてくれた。

追加のインタビュー質問も行われた。ひとつは、EU議会への潜入に関する報道を扱ったものだ。これは明らかに非常にデリケートな問題だった。双方にとって！

ミヒャエル・キューネンと私は一晩中語り合った。私たちは常に「合法部門」と「非合法部門」それぞれの活動で緊密に連携していた。私たちの会話は、私の人生で最も記憶に残る出来事のひとつだった。

私たちはインゴ・ハッセルバッハの冷水平に隠れていた。彼は後に有名な“亡命者”となった。彼の嘘は、私に対する虚偽の「テロリスト」告発を裏付けるために使われた。とりわけ彼は、私がテロ活動を命じる手紙（！）を送ったと主張した。彼の“広報担当者”は、彼が私に不利な証言をすると主張したが、証人として呼ばれることはなかった。私が最後に聞いたところでは、彼は証人保護プログラムの下でアメリカに住んでいるらしい。

何はともあれ、すべては計画通りに完璧に進んだ。死傷者も出なかった。長期的な利益はかなり大きかった。


NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
Nummer 104 Eingeleitet 1975 26. April 2017 07:04

Der Kampf geht weiter !

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung endlich da, so jetzt in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Mischlinge von Völkern, Völkern, Völkern und Völkern haben nicht umsonst, das Wort der goldenen Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten und sonstige arische Völker und Rassenbewegungen sollen sich an der Erhaltung unserer Völker beteiligen. Die Bewegung ist eine andere geworden, aber die Größe des hochgeliebten Führers ist heute noch größer als in der Vergangenheit.

Ein verurteiltes Götter ist eben dabei, das Volkstum – gegen alle Völker () – zu heilen. Seine Mission und Erbschaft, Überwindung und Erneuerung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob im Propagandakampf, bewacht oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Heil Hitler!
Gerdhard Lück


TROTZ VERBOT NICHT TOT!


N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したもので、ですね。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheascend.com/truth.html) に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の増大です。1つのことについて情報を集めても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理



 **the NEW ORDER**
Number 176 (2022) Founded 1975 April 26, 2022 07:04

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the word of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware counterforces and racial kinmen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Heil Hitler!
Gerdhard Lück


TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

SS Defender against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler

Translated from the SS Original

The Poisonous Mushroom
Julius Streicher, Reich Minister of Propaganda

Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Hitler in Italy
Rudolf Heßmann

English / German Deutsch / English

SS Viewpoint – Vol. 9
Wife and Family


The Sins of High Finance
Theodor Fritsch


Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild

English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

Contact us to find out how YOU can help!